町制運営の基本となる会計

般

会計..

福祉や教

育、

道

路

整

備

など

Š

種

類 の

会

特別会計:(7会計)国民健康

保険、下



8 成 2 年

定する会計

は水道事業会計

公営企業会計:(1会計)町

が経営する

返済、各種団体に対する補助

金、人件費な

経費、道路など公共施設の整備、借入金

歳出(使ったお金)は福祉や医

療に

係 \bigcirc

企業で独立採算が原則の会計(日野町で

を明確にするため、一般会計と分けて設

水道事業など特定の事業について、収支

入:91億7,740万円

前年度比5億2,722万円(6.1%)増

その他 8,995万円(1.0%) 町民税 ……… 15億3,209万円 固定資産税 ~ 18億3,653万円 国庫支出金 町たばこ税 …… 1億2,752万円 県税交付金 9億5,852万円 4億5,863万円 (10.4%)軽自動車税 ……7,612万円 (5.0%)町債 町税 8億4,190万円 35億 自主財源 依存財源 (9.2%)7,226万円 44億 46億 8,356万円 9,384万円 (38.9%)県支出金 (48.9%)(51.1%)6億8,625万円 (7.5%) 地方交付税 16億5,859万円 (18.1%)繰越金 4億2,851万円(4.7%) 繰入金 4,047万円(0.4%) 使用料及び手数料 1億2,350万円(1.3%) その他 1億4,876万円(1.6%) 分担金及び負担金 1億7,006万円(1.9%)

歳 入と 歳

出

国や県から配分されたお金、預金の取り い、使用料や分担金などです。 歳入(入ってきたお金)は税金、借入金、 会計には「歳入」と「歳出」 ず。

」があり ŧ

-般会計の決算の状況

平成28年度一般会計決算額は、歳入が91億7,740万円、歳出が 86億120万円となり、差引の5億7.620万円から翌年度への繰越財 源を除いた実質収支は2億4,454万円の黒字決算となりました。

健 全 な財 政運営と歳

歳出とも増額となりました。これは防災センター 《費の増加が要因です。 整備や必佐小学校給食室の改修など、建設 成28年度の決算規模は前年 度に比べ

2億5,473万円の増収となりました。これは する割合は約51.1%となりました。 源の総額は46億9,384万円で歳入全体に 県からの補助金、町債などがあります。依存財 税が増加したためです。町独自の収入以外の収 町内主要企業の業績好調により、法人に関する である町税は35億7,226万円と前年度から ((依存財源)としては、主に地方交付税や国 歳入の特徴として、町独自の収入(自主財

ら園鎌 所の待機児童を減らすため、公立保育所あおぞ ことです。 大路幼稚園3歳児保育実施のための改修、 成事業の拡充など教育・福祉施策を充実 出の特徴は、必佐小学校給食室および 掛 分園の開設、福祉医療(こども医療分) 、保育 西

害に備えた備蓄倉庫や水防資材倉庫を集約 からいただいた寄付金を活用して、日野駅 施することができました。また、町内外の皆さん 型観光、有害鳥獸被害対策、 かした移住・定住促進事業、日野菜の振興、体験 (ロジェクト1期工事に取り組みまし 今後も安定した財政運営のため、 ほかにも厳し (センターの整備など重点施策を着実に実 い財政事情の中、 道路の新設改良、災 財政健 の魅力を活 全化

取り組みを行います。

入歳出の

特

徴

2

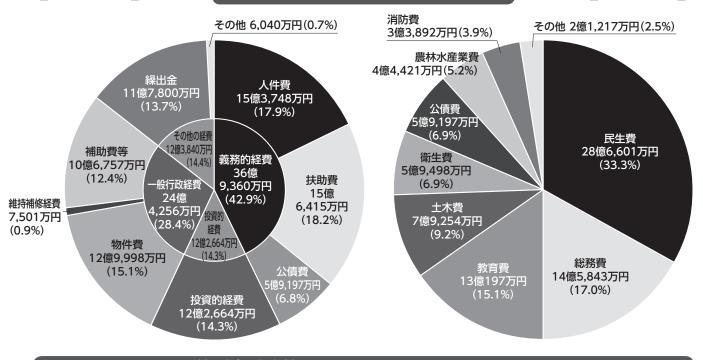
「性質別」は、人件費などの義務的な支出なのか、公共事業など将来のために投資するための支出なのかなど、「経済的性質ごとに分類して表す方法」のことをいいます。それに対して「目的別」は、「町がどんな行政目的のためにどれくらいの支出をするのか」という視点から分類する方法です。



歳出:86億120万円

前年度比3億7,953万円(4.6%)增

【目的別】



特別会計決算(特定の事業を行う7会計。全会計とも黒字)

	歲入額: 24億8,694万円	歲出額: 23億7,239万円	差引額: 1億1,455万円			
国民健康保険	自営業の方や他の医療保険に加入されていない方のための医療保険給付、特定健診の実施 ●被保険者数:4,875人(2,878世帯)/●保険税:4億5,733万円/●一般会計繰入金:1億4,891万円/●保険給付費:14億6,236万円					
	_{歳入額} : 19億7,163万円	^{歳出額:} 19億346万円	差引額: 6,817万円			
介護保険	介護予防または介護が必要となった方への保険給付、介護サービスの提供 ●第1号被保険者数:6,296人/●保険料:4億145万円/●一般会計繰入金:2億7,998万円/●保険給付費:17 億8,219万円					

| その他の特別会計

会計区分	歳入額	歳出額	差引額	会計区分	歳入額	歳出額	差引額
公共下水道事業	8億5,671万円	8億5,602万円	69万円	農業集落排水事業	1億8,538万円	1億7,686万円	852万円
簡易水道事業	1,235万円	1,232万円	3万円	後期高齢者医療	2億3,963万円	2億3,657万円	306万円
西山財産区	241万円	217万円	24万円				

公営企業会計決算(水道事業会計)

事業収益	6億1,389万円(↑0.9%)	経常利益	4,962万円(↓20.5%)
事業費用	5億6,428万円(↑ 3.4%)		8億313万円(↓5.4%)
資本的収入	4,963万円(13.4%)	現金預金	10億1,346万円(† 7.4%)
資本的支出	1億2,207万円(↑26.1%)	固定資産合計	29億2,927万円(↓3.3%)

●給水人□:20,584人(↓115人)

●配 水 量:7,099㎡/日

(一人当たり:345以)

●有収水量:6,238㎡/日

(一人当たり:303以)

●供給単価:227円68銭●給水原価:215円28銭